

さいたま国際芸術祭実行委員会

第 2 回 総 会

次 第

日 時：令和4年3月30日(水)15時00分～
会 場：ときわ会館5階 大ホール

1 開 会

2 議 事

- (1) 報告第1号 「さいたま国際芸術祭2023」の準備状況について
- (2) 議案第1号 ディレクターの決定について
- (3) 議案第2号 令和4年度事業計画について
- (4) 議案第3号 令和4年度収入支出予算について

3 そ の 他

4 閉 会

「さいたま国際芸術祭2023」の準備状況について

1 概況

令和4年1月19日に実行委員会を設立、ディレクター候補者の選定作業を行い、開催実施計画等の策定を進めている。

2 実行委員会

【実行委員会開催状況】

開催日	議題
第1回：令和4年1月19日（水）	・実行委員会の設立及び予算案の承認等
第2回：令和4年3月30日（水）	・準備状況の報告 ・ディレクターの決定及び令和4年度予算案について

3 開催実施計画策定に向けた取組

(1) ディレクター

【ディレクター選定経過】

募集期間：令和4年1月24日～2月7日
第1次選考：令和4年2月18日 結果通知
第2次選考：令和4年3月9日 面接・3月18日結果通知
決定予定：令和4年3月30日（第2回実行委員会総会において承認）
候補者：現代アートチーム目 [mé]
委嘱予定日：令和4年4月1日（令和7年3月末日終了予定）

※応募者数は15組

(2) 開催実施計画の策定等

今後の予算要求に際し、より詳細な積算を行うために必要となる開催実施計画の策定が求められていることから、業務遂行能力の高い事業者を選定するため、プロポーザル方式による業者選定を実施し、凸版印刷株式会社と契約を締結したところ。

【業者選定経過】

募集期間：令和4年1月26日～2月2日
プレゼンテーション：令和4年3月1日
契約締結日：令和4年3月9日

4 会場整備に向けた取組

メイン会場となる市民会館おおみや会場の整備に向けた調査及び設計業務について、指名競争入札により、契約を締結したところ。

【業者選定経過】

指名通知：令和4年3月17日
契約締結日：令和4年3月28日

5 令和3年度収入支出決算見込について

【収入の部】令和3年度

(単位：千円)

区 分	予算額 (A)	収入額 (B)	過不足額 (B)-(A)	説 明
さいたま市負担金	560	560	0	
その他雑入	1	0	△ 1	○受取利息
合 計	561	560	△ 1	

【支出の部】令和3年度

(単位：千円)

区 分	予算額 (A)	支出額 (B)	不用額 (A)-(B)	説 明
事業企画費	0	0	0	
広報関係費	0	0	0	
委員会運営費	110	110	0	○実行委員会総会の開催に伴う会場使用料や委員旅費など
事務局運営費	451	450	1	○消耗品費、通信運搬費など
合 計	561	560	1	

*R4. 3. 28 時点

ディレクターの決定について

さいたま国際芸術祭実行委員会規約第11条第2項の規定により、ディレクターを以下のとおり決定することについて、承認を求めます。

職	氏名	委嘱期間
さいたま国際芸術祭2023 ディレクター	現代アートチーム 目 [mé]	令和4年4月1日からさいたま国際 芸術祭実行委員会が解散する日まで

ディレクター 略歴

現代アートチーム目 [mé]

アーティストの荒神明香、ディレクターの南川憲二、インストーラーの増井宏文の3人を中心とする現代アートチーム。手法やジャンルにはこだわらず、展示空間や観客を含めた状況、導線を重視。創作方法は、中心メンバーの個々の特徴を生かしたチーム・クリエイションに取り組み、発想、判断、実現における連携の精度や、精神的な創作意識の共有を高める関係を模索しながら活動している。



【photo】 TAKESHI ABE

《中心メンバー》

・荒神 明香（こうじん はるか）

アーティスト。1983年広島生まれ。2009年東京藝術大学大学院美術研究科修了。サンパウロ近代美術館（ブラジル）、ジャパン・ソサエティー（ニューヨーク）、ポンピドゥーセンターメッス（フランス）など国内外で作品を発表。Art Award Tokyo 2007 グランプリ受賞、東京藝術大学卒業制作展 買い上げ賞、作品《reflectwo》東京都現代美術館、サンパウロ現代美術館所蔵。

・南川 憲二（みなみがわ けんじ）

ディレクター。1979年大阪生まれ。2009年東京藝術大学大学院美術研究科修了。wah document（わうどきゅめんと）（2006～）として、カウス・アウストラリス（オランダ）、オーセージギャラリー（香港）、ポンピドゥーセンターメッス（フランス）など国内外で活動を展開。東京藝術大学終了制作展 川俣正賞、Art Award Tokyo 丸の内 2009 グランプリ受賞。

・増井 宏文（ますい ひろふみ）

インストーラー。1980年滋賀生まれ。2008年佛教大学教育学部卒業。2004年成安造形大学造形学部卒業。wah document（わうどきゅめんと）（2006～）として、カウス・アウストラリス（オランダ）、オーセージギャラリー（香港）、ポンピドゥーセンターメッス（フランス）など国内外で活動を展開。

主な作品

- 2021 《まさゆめ》Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13（東京各所）
- 2019 《非常にはっきりとわからない》千葉市美術館（千葉）
- 2017 《repetition window》Reborn-Art Festival 2017（宮城）
- 2016 《Elemental Detection》さいたまトリエンナーレ2016（埼玉）
- 2014 《たよりない現実、この世界の在りか》資生堂ギャラリー（東京）

さいたま国際芸術祭実行委員会
令和4年度事業計画

さいたま国際芸術祭の開催に必要な準備を行うため、次の事業を行う。

1 さいたま国際芸術祭実行委員会総会の開催

	開催時期 (予定)	主な内容
第3回	令和4年8月26日	開催実施計画の決定等
第4回	令和4年10月下旬	補正予算案の承認等

2 開催実施計画策定に向けた取組

(1) 国際芸術祭の企画 (～7月末日目途)

- ・事業の企画を担うディレクターの決定後、テーマ・コンセプト、場所、各プロジェクトの展開及び具体的な企画内容、等をまとめた開催実施計画案を作成する

(2) 広報・プロモーション計画の策定 (～7月末日目途)

- ・開催気運の醸成に向けて、広報戦略を検討した上で、ロゴマークの作成を行うとともに、各種媒体別の広報・プロモーション計画を策定する。
- ・ティザーサイトを制作し、公式ウェブサイト開設まで、段階的に情報発信を行う。

(3) 参加アーティストの選定 (～10月末日目途)

- ・国際芸術祭に招聘するアーティストを選定する。

3 会場整備に向けた準備業務 (～6月末日目途)

- ・メイン会場となる市民会館おおみや会場の整備に向けた調査及び設計を行う。

さいたま国際芸術祭実行委員会
令和4年度収入支出予算

【収入の部】令和4年度

(単位：千円)

区 分	予算額	説 明
さいたま市負担金	40,079	
その他雑入	1	○受取利息など
合 計	40,080	

【支出の部】令和4年度

(単位：千円)

区 分	予算額	説 明
事業企画費	29,941	○開催実施計画策定に係る事務局支援業務委託費 ○会場調査設計に係る業務委託費
広報関係費	9,583	○広報戦略策定に係る業務委託費 ○WEBサイト制作・運用に係る業務委託費
委員会運営費	55	○実行委員会総会の開催に伴う会場使用料や委員旅費など
事務局運営費	501	○通信費、消耗品費など
合 計	40,080	